

大牟田工場に次世代の高機能球状フィラー製造設備の増強を決定

～50億円の戦略投資で5G・xEV向け機能性フィラー製品群を拡充し、スペシャリティ事業を強化～



高機能球状フィラーの開発・製造を担う大牟田工場

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫）は、スペシャリティ事業の成長加速のため、大牟田工場（福岡県大牟田市）において、50億円の戦略投資による次世代の高機能球状フィラー製造設備の増強を決定いたしました。半導体を含む高速・大容量データ通信(5G)・自動車の電動化(xEV)における高信頼製品の需要増を見込んで、球状シリカや球状アルミナ、球状マグネシアの高機能グレードの生産能力を増強するために製造設備を新設いたします。

当社は1915年の創業以来培ってきた無機材料の高温焼成・窒化反応・粒径制御等の基盤技術を元に、球状シリカ、窒化ホウ素、窒化ケイ素、球状アルミナ、蛍光体など様々な機能性セラミックスを製造しています。球状シリカは低熱膨張性を活かし半導体封止材料や半導体パッケージ基板などに、球状アルミナは高熱伝導性を活かし、車載、通信など多岐に渡る放熱材料として広く使用され(*)、市場から高い評価を頂いています。

今回の戦略投資により、これら基盤技術の高機能化を推進し、5Gの伝送損失低減に対応する低誘電正接シリカ、微細化する先端半導体に適応した球状シリカ、更には深刻化する電子機器の熱対策を球状アルミナとともに強力にサポートする球状マグネシアなど、中長期的な高機能フィラーの需要に対応すべく、高度なフィラー制御技術を集約し、設備を増強することで、当該高機能分野でのデファクトスタンダード化を進めてまいります。さらにBeyond 5G(6G)やxEV等の更なる進化に伴うニーズにもスピード対応できる様、当該設備を活用してまいります。

当社は経営計画「Denka Value-Up」において、5G・xEVを中心とした環境・エネルギー分野を重点分野の1つと位置付け、同分野における22年度の営業利益220億円を目指しています。今後もSDGsを羅針盤に、誰よりも上手にできる仕事で全ての人により良く生きる世界をつくる、社会にとってかけがえのない企業を目指してまいります。

以上

(*）車載リチウムイオンバッテリー、車載センサー（ADAS・LiDAR）、5G通信、IoT化 など。



■投資概要

- ・投資拠点：大牟田工場（福岡県大牟田市新開町 1 番地）
- ・投資内容：次世代先端球状フィラー工場設備の増強および新設
- ・投資金額：50 億円（見込）

【ご参考:本件に関連する過去プレスリリース(当社ホームページ)】

- ・2021年6月17日「デンカ球状マグネシアが「半導体・オブ・ザ・イヤー2021」優秀賞を受賞」
[https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/881/20210617_denka_kilyujio_magunesia .pdf](https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/881/20210617_denka_kilyujio_magunesia.pdf)
- ・2020年11月5日「窒化珪素の生産能力を大幅増強し機能性セラミックス材料事業を強化」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/779/20201105_denka_5g_xev.pdf
- ・2020年10月9日「5G・xEV 向けに最先端機能性セラミックス「デンカ球状マグネシア」を市場投入」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/773/20201009_denka_5g_xev.pdf

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5071

【お客様からのお問い合わせ先】

電子・先端プロダクツ部門 先端機能材料部 電話：03-5290-5539